

宇都宮市立東小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
・主体的に取り組み、共に学び、楽しく分かる授業づくり	・主体的に取り組むため、協働的に学び合う授業の推進 ・ICTや教材・教具の活用と児童の問いを生かす工夫	・学校質問紙「グループなどでの話合いに自分から進んで参加していますか」について、6学年中、4学年が市の平均を下回っている。
②思考力・表現力を伸ばし、高める指導の工夫	・対話的・協働的な学びを通して、自分の考えを表現する場の設定	・学校質問紙「自分の考えを理由をあげながら話すことができる」について、質問項目がある3年生以上の4学年のうち、2学年が市の平均を下回っている。 ・6学年の学力調査の結果を見ると、国語と理科で、「思考力・判断力・表現力」の校内平均が市の平均を下回っている。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

・児童が主体的に学ぼうとする態度の育成のために、協働的な学びの場を授業の中で意図的に組み込んでいきたい。
・協働的な学びの場を設定する際、目的をもってペア学習やグループ学習ができるように、問題意識の醸成を図り、学習課題を児童の学びたいことに転化する工夫をしたり、話し合うための観点を示したりしていく。また、小刻みな共有の時間を授業の中でたくさん取り入れることで、児童が自分の考えを表現したり、友達の考えを聞いたりできるようにしていく。さらに、追究・探究することを目的とした学習においてはグループ学習の時間を多く設定し、互いの考えを伝え合うことを目的とした学習においては、共有の時間を敢えて短く設定するなど、協働的な学びの際の時間設定の工夫をしていきたい。